

瑞穂第五小学校 瑞穂町もり上げ隊 の皆さん

瑞穂第五小学校の6年生が「瑞穂町もり上げ隊」を結成し、「第50回瑞穂町産業まつり」では、町内で高い技術を有する会社を取材して来場者に紹介し、精巧に金属加工された「みずほまる」のキーホルダーの販売をしました。また、駅西公有地を活用したにぎわい創出事業「OHAKO MARKET」では、自作のデザインがプリントされたサコッシュの販売をするなど、会場を盛り上げてくれました。今回、「瑞穂町もり上げ隊」で活躍した代表4人の小学生をご紹介します。

※児童の学年は、令和5年度時点です。



子どもたちがデザインした黒いサコッシュ

知れば知るほど、この町に住んでいくことが自慢になっていきました。

Q もり上げ隊結成のきっかけは？

―授業で担任の先生から、「商品開発して町で販売する」というテーマが与えられ、友達とアイデアを出し合っているうちに、だんだんとクラス全体で盛り上がりつつ、「本」にやってみよう」ということになりました。

―とにかく瑞穂町の知名度を上げたい。

―私も同じ。小・中学生議会への参加を機会に町のことを調べたら、人口が減っていることを知りました。だから、瑞穂町のことを多くの人に知ってもらって住んでほしい。

―瑞穂町にはすごい技術を持っている会社があることを知ってほしいから。

Q もり上げ隊で活動してよかったことは？

―商品を買った時にお客さんが喜んでくれました。

―社会勉強になりました。

―「OHAKO MARKET」に参加して販売目標を達成できました。

―町長さんが来てくれて、私たちの「まちのすごいところ」の説明を熱心に聞いてくれました。

―議員の方からインタビューを受けるぐらいに、先生から「もっと大きな声で、元気に」って言われました。慣れるまで少し恥ずかしかったです。

Q もり上げ隊で活動して学んだことは？

―レジ打ち、呼び掛け、プレゼン、商品の補充や配置など、すべて一人ではできないので、一人一人が役割に責任をもって、みんなで協力することが大切だと知りました。

―町のことを勉強してたくさん知ることができました。そして、知れば知るほど、この町に住んでいることが自慢になっていきました。

―町の職員の方や校長先生が、もり上げ隊と町の会社をつないでくれました。何かを行う時には見えないところで支えてくれる人がいるのだと知りました。ご協力いただいた皆さまに心から感謝することができました。

Q 瑞穂町の良いところは？

―おいしい狭山茶や伝統的なだるまもあるし、観光スポットもあります。

―素晴らしい技術を持った工場があるところ。自然が豊かで、何といっても町の人が温かいです。

Q 大人になった時に、瑞穂町がどんな町になってほしいですか？

―知名度アップで産業が活性化して、みんなが元気に暮らしている町。

―人と人とのつながりが強く、お互いに助け合

って安心して暮らせる町。

Q これからのどんな活動をしていきたいですか？

―もり上げ隊は5年生にバトンを渡します。私は新しく結成した「もり上げ隊」をサポートしていきたいです。

―他のイベントにも参加したいです。

―町を紹介するCMを製作したいです。

―ホームページやSNSをジャンジャン活用して瑞穂町のことを宣伝したいです。

―町や人の役に立つ仕事がしたいです。

Q 読者の皆さんにメッセージをお願いします

―もり上げ隊は5年生が引き継ぎます。引き続き応援してください。

―仕事の依頼、お願いします。

関根校長先生のコメント

子どもたちの主体的なパワーが多くの人を動かしました。学校の授業だけでは体験できない生きた学習ができたと思います。

担任の福田先生からのコメント

一人一人が役割をしっかりと考えて行動してくれました。クラスの団結力が素晴らしいです。

ご協力ありがとうございました。中学生になっても、町のためにがんばってください。